

## 秋田市人口ビジョン改訂概要と第2期秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関係について

【改訂要旨】人口の見通し等が策定時と大きく乖離していないことから、2040(R22)年に約26万人を目指すシナリオを維持する

## 人口ビジョン改訂

中長期展望  
(対象期間2060年まで)

## 次期総合戦略

短期戦略  
(2021～2025年)

策定時(2016.3月)

基本データ  
H22国勢調査  
H25社人研推計

## 【現状】

- ・本市人口は減少傾向にあり、2010(H22)年の約32万4千人が、2040(R22)年には約23万5千人と推計(国立社会保障・人口問題研究所(以降「社人研」))
- ・自然動態は死亡数が出生数を上回り、自然減が続いている
- ・社会動態は高校や大学等の卒業に伴う転出が顕著
- ・人口構造の面でも、年少・生産年齢人口の減少と老年人口の増加  
⇒老年人口割合が2040(R22)年には約42%に達すると予想

## 【本市人口の将来展望】

- <仮定>  
合計特殊出生率: 2030年に1.8(※1)、2040年に2.07を達成(※2)(国と同じ)  
※1国民希望出生率(若い世代の結婚・子育ての希望が実現した場合の出生率)  
※2人口置換水準(長期的に国全体で人口が安定するために必要な出生率の水準)

<目指すべき将来人口>  
2040(R22)年に約26万人達成を目指す

- (参考)国・県人口ビジョンにおける目標等  
国: 2060(R42)年に総人口1億人程度を確保  
長期的には9,000万人程度でおおむね安定的に推移  
県: 2040年に約76万人、2060年に約61万人達成を目指す  
※合計特殊出生率: 2035(R17)年に1.8、2050(R32)年2.07を達成

## 【取組の基本的視点】

- ① 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ② 安定した雇用を創出する
- ③ 秋田市への新しいひとの流れをつくる
- ④ 高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりを進める
- ⑤ 持続可能な地域をつくり、安全安心な暮らしを守る

時点修正

策定時の現状  
と大きく乖離  
していない

シナリオ維持

本市人口は  
策定時の  
推計・目標を  
上回って推移

・2020年10月人口  
実績 304,031人  
目標 301,891人  
推計 299,970人  
※目標…策定時  
推計

見直し

国・県総合戦略  
と  
次期総合計画  
の創生戦略  
を勘案

改訂版(今回)

基本データ  
H27国勢調査  
H30社人研推計

## 【現状】

- ・本市人口は減少傾向にあり、2015(H27)年の約31万5千人が、**【修正】2040(R22)年には約24万5千人**と、前回推計よりも約9千人上回る緩やかな減少にとどまると推計  
また、**【新】2045年(R27)には約22万5千人と推計(社人研)**
- ・自然動態は死亡数が出生数を上回る自然減が続いており、年々その傾向が強まっている
- ・社会動態は高校や大学等の卒業に伴う転出が顕著  
また、転出超過数が減少傾向にあるときは、「子育て世帯」が転入超過傾向に
- ・人口構造の面でも、年少・生産年齢人口の減少と老年人口の増加  
⇒老年人口割合…**【修正】2040(R22)年約44%**、**【新】2045(R27)年には約47%**  
に達すると予想

## 【本市人口の将来展望】

- <仮定>【維持】  
合計特殊出生率: 2030年に1.8(※1)、2040年に2.07を達成(※2)(国と同じ)  
※1国民希望出生率(若い世代の結婚・子育ての希望が実現した場合の出生率)  
※2人口置換水準(長期的に国全体で人口が安定するために必要な出生率の水準)

<目指すべき将来人口>  
**【維持】2040(R22)年に約26万人達成を目指す**

- (参考)国・県人口ビジョンにおける目標等  
国: 2060(R42)年に総人口1億人程度を確保(令和元年12月改訂)  
長期的には9,000万人程度でおおむね安定的に推移  
県: 2040年に約76万人、2060年に約61万人達成を目指す(未改訂)  
※合計特殊出生率: 2035(R17)年に1.8、2050(R32)年2.07を達成

目標等  
に変更なし

## 【取組の基本的視点】

- ① 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ② **安定的かつ魅力的なしごとの場をつくる**
- ③ **秋田市とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる**
- ④ 高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりを進める
- ⑤ 持続可能**かつ魅力ある**地域をつくり、安全安心な暮らしを守る  
**(横断的視点)**  
・**新しい時代の流れを力にする**(先端技術の活用や持続可能なまちづくり)  
・**多様な人材の活躍を推進する**(誰もが活躍できる社会づくり)

反映

創生戦略  
との関係  
裏面将来の  
目指す  
べき姿  
の実現  
に向けた  
施策等

# 次期総合戦略

# 次期総合計画

○県都『あきた』創生プランが目指す方向性、取組がベース  
○秋田市人口ビジョンに掲げる将来の目指すべき姿の実現に取り組む

## 政策分野と具体的に取り組む施策の方向性

政策分野	【数値目標】	【基本的方向】	【具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)】
① 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 自然増減の本市人口への影響が策定時よりも高まっていること等を踏まえ、引き続き、基本目標の一番目に据え、子育ての希望をかなえられる環境づくりに取り組む			
② <b>安定的かつ魅力的なしごとの場をつくる</b> 様々な人々にとってやりがいを感じることができる魅力的なしごと・雇用機会があり、誰もが安心して働けるような地域となるよう、雇用に加えて、起業や事業承継、就農も含めたしごとづくりを進める			
③ <b>秋田市とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる</b> 本市に多様な形で関わり、経済波及効果なども期待できる「関係人口」の創出・拡大という観点を加え、本市への新しいひとの流れを加速させる			
④ 高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりを進める 引き続き、老年人口の増加を踏まえた本市独自の視点として、誰もが安心して暮らせる健康長寿社会づくりに取り組む			
⑤ 持続可能 <b>かつ魅力ある</b> 地域をつくり、安全安心な暮らしを守る 引き続き、コンパクトシティの形成や安全な生活の実現などに取り組むとともに、シビックプライドの醸成などを通じて「魅力を育む」との観点を追加し、地域資源を最大限活用した地域の活性化と魅力向上を図り、住み続けたいと思えるような地域をつくる			

### 横断的な視点

多様な人材の活躍を推進する  
新しい時代の流れを力にする

若者、高齢者、女性、障がい者、外国人など、誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる社会づくり

関連する  
主な部分

## 創生戦略

- 【戦略1】先端技術を活用した地域産業の振興としごとづくり
- 【戦略2】芸術文化・スポーツ・観光による都市の魅力向上
- 【戦略3】未来につなぐ環境立市あきたの推進
- 【戦略4】子どもを生み育てやすい社会づくり
- 【戦略5】いきいきと暮らせる健康長寿社会づくり

・ AI や ICT、デジタル化など少子高齢化・人口減少に伴う地域の課題解決にもつながる先端技術の活用  
・ 持続可能な開発目標（SDGs）の理念を踏まえたまちづくりの推進 など